



12月の完成をめざして撮影が続けられます。

記録映画の 撮影がスタート

私たちの町が
できてから今年
で八十年になり
ました。その記
念事業のひとつ
として、記録映
画をつくること
になり、四月の
季節はずれの雪
の中で撮影がは
じまりました。

この映画は、自分の町のようにす
をおたがい知ることや、学校の
教材として、また、後の世代に現
在の幕別の姿を動く記録として残
すことを製作の目的としてつくら
れます。

内容は、農業をはじめとした産
業の紹介、町の未来を担う子ども
たちの教育、地域の活動のようす
やさまざまな行事を通しての人と
人とのつながり、そして町政がど
のようにすすめられているかなど
が収録されます。

これから十一月まで撮影が続け
られ十二月には十六ミリのカラー
映画としてできあがり、来年一月
には町内の各地域でみなさんに見
ていただけたらと思います。

記録映画の中には、できるだけ
多くの人、多くの地域が登場する
ようにと考えていますので、撮影
にうかがったときはご協力をお願
いします。

広 報
5

1976

まくべつ

— No. 291 —

町 係
別 係
幕 町
行 集
編 刷
印 大
同 出 版 紙 業 株 式 有 限 公 司

明日を創る若者の意識と行動

「いまどきの若い者は」と、よく言われます。しかし、このことばの中には、若者のもつ可能性をひきだしてやろうとする響きはありません。そして、それ以上に、それぞれ個性をもった一人の人間を画一的にみようとすることは、およそ教育的な態度とは大きくかけはなれています。

いつの時代でも、青年の成長と活動によって社会の発展が左右されてきました。そこで、青年期にこそ人間性を重視し相互の友情を基盤とした学習活動が重要であり仲間が必要になります。

いっしょに何かをやりたい、と思っても集まる場所がない、若者どうしのつながりをつくる機会がないなどの多くの現実がとりまいています。その点では、必ずしも教育行政が青年の希望に十分に対応しているとはいえません。

そういった問題から、このほど幕別、池田、浦幌、豊頃の十勝東部四町の社会教育主事専門部会が余暇や学習にたいする意識をアンケート調査し、現状に立っての青年教育の広域的なあり方を検討しています。

以下、その調査結果と分析についてお知らせします。(本文中の

数値はすべて四町の合計によるものですが、幕別分の数値もこれとほとんど同じで、差がないことを

1 就労時間について

「祝日出勤も、ときどきある。」

一日の平均就労時間が八時間以内である人は六五%となつていますが、ここで問題と思われるのは九時間が二一%、十時間以上と答えた人が一二・三%(四十九人)もあつたことで、その実態を具体的に把握する必要があります。

平日の勤務が五時以内が終わる人は六二・五%となつていますがこれは図表1にみられる就労平均

あらかじめおことわりします)

アンケートは、幕別、池田、浦幌、豊頃の市街地で働く十六歳から二十六歳までの男女四百名の方に回答をお願いしました。

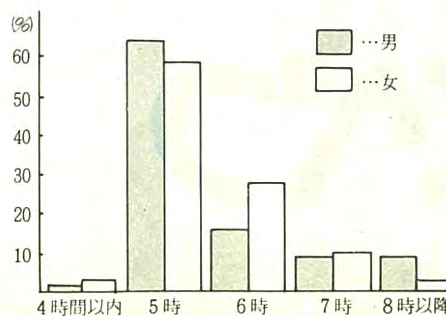
① 町村別のアンケート回収数

	浦幌	豊頃	幕別	池田	計
男	41	40	53	58	192
女	59	60	47	42	208
計	100	100	100	100	400

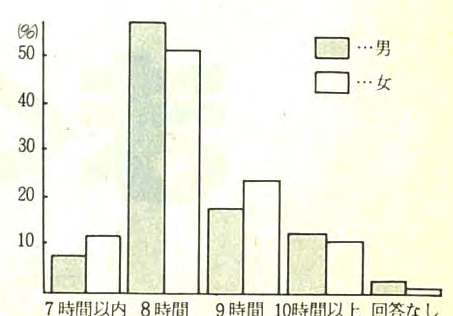
時間が八時間以内の人六五%との相関があると思われます。しかし七時以降に勤務が終わるとの回答が一五・五%(六十二名)もあり勤労青年の実態は必ずしも恵まれていません。

土曜日の勤務が正午で終わる人は三八・三%、午後一時で終わる人一三%を加えても五一・三%(二百五人)です。勤労青年の約半

③ 平日の勤務終了時刻(平均)

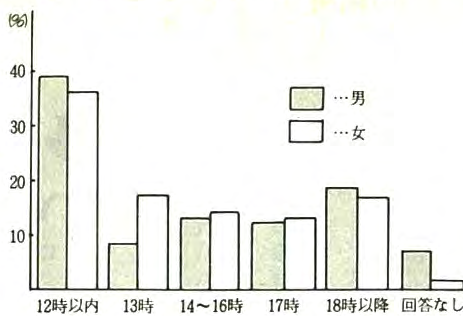


② 就労平均時間



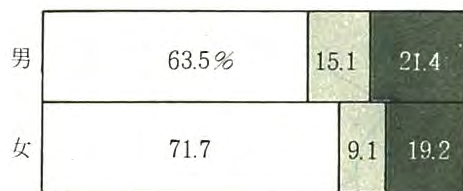
(百二十九名)を占め、このことも青年活動を設定する上で配慮しなければなりません。

④ 土曜日の勤務終了時刻(平均)



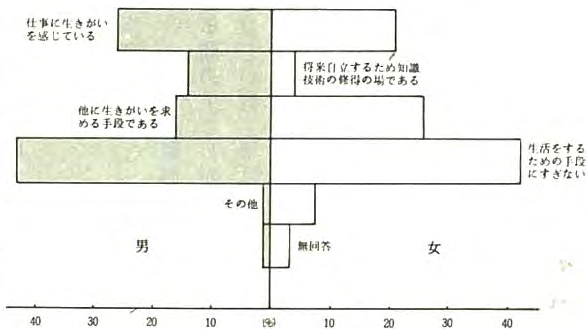
これらのことを考えあわせると週休二日制にはほど遠い実情にあるようです。

⑤ 祝祭日の勤務



□ …休みである
■ …原則として休みである
■ …休みではない

⑦ 仕事にたいする考えかた



3 仕事にたいする考えかた

「生活をするための手段にすぎない。」

ほとんどの人が仕事に生きがいとは考えていないようです。

「生活をする手段」と答えた人が男性で四二・七%、女性で四四・二%と最も高く、「他に生きがいを求める手段」との回答は男性で一五・六%、女性で二六%となりました。全体の約六五%の人が仕事に生きがいを求めてはいないようです。

技術を習得する場として積極的にとらえたのは全体の三二・九%です。

これらの傾向は、転職する青年の増加などとあわせて、現代青年への批判として取りあげられる場合が多いが、前述の労働条件などを含めた社会的背景もあわせて検討し、勤労青年にたいする社会教育の観点として十分に配慮されなければなりません。

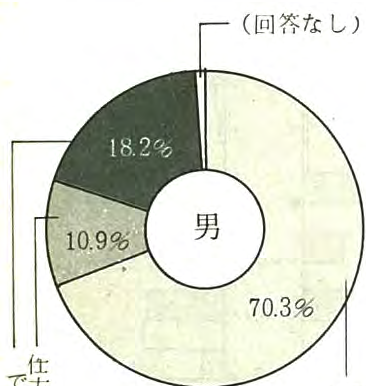
2 職業にたいする意識

「現在の仕事を続けていききたい。」

この調査では、男女の差が大きく、「現在の職業を続けていききたい」と答えたのは男性七〇・三% (百三十五名)、女性四八・一% (百名)で、「仕方がないから続けていく」と答えた人は男性一〇・九%に対し、女性はその二倍の二三・一%を占めています。

しかし、この結果から安易に、男性にくらべ女性は現在の仕事に意欲的にとりくんでいないとか、女性には仕事への情熱がなく、職業を結婚までの腰かけにしているなどと、とかく結論づけてしまいがちですが男女の賃金格差や労働条件などの社会的

⑥ 職業への意識

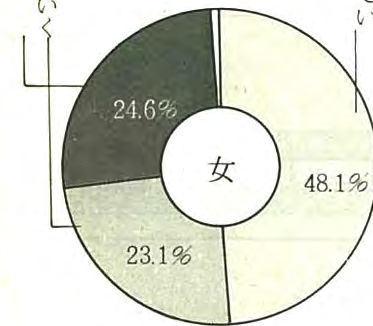


現在の職業を続けていききたい
仕方がないから続けていききたい
回答なし

また、「現在の職業を続けていききたい」と答えた男女計五八・八% (二百三十五名)の人のすべてが、現在の職業や職場に一〇〇%満足をし安定した生活をすごしているか否かは、これだけの資料ではわかりませんが、「仕事を続けていく」という数値としてだけとらえてください。

4 余暇時間のすごしかた

「体を休めるのに使っている。」

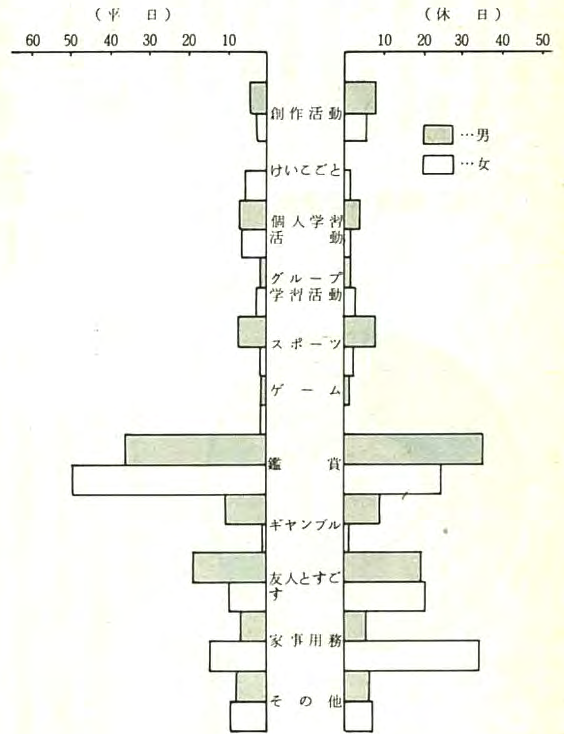


平日の余暇時間は、男女とも半数以上が四時間から六時間はあると答えているので、多くは自分の時間を十分もっていると思われるが、その時間を何に使っているかが次ページの図です。

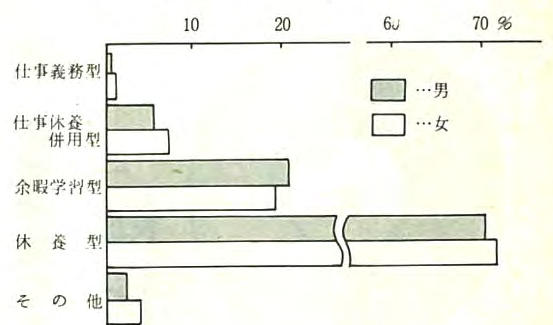
レコード、テレビ、ラジオ、映画を見たり聞いたりして余暇を過ごす人が男女とも目だっています。また、創作活動や学習活動をするなど積極性をもつ人はごくわずかなようです。

この調査結果をまとめると図表⑨のようになり、十人に七人は余暇は仕事の疲れをいやすためと、割り切った考え方をしているのが特徴です。したがって、社会教育を考えるときに、レクリエーションや軽スポーツをより魅力ある内容として加え、PRすることも必要になります。

⑧ 余暇時間の使いかた



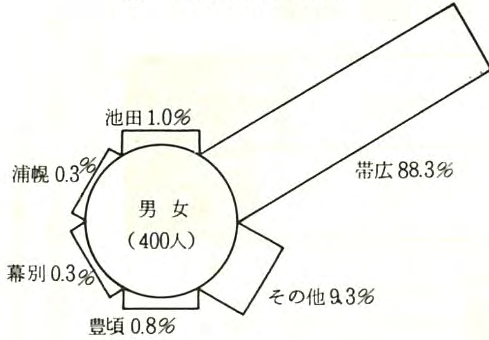
⑨ 余暇の使いかた (まとめ)



5 他市町村への外出

「帯広へ行くことが多い。」

⑩ 若者の行動範囲



男女ともサークル、グループ活動への参加率は二七・三%と低くなっています。人間形成の基礎をなす青年期のすごしかたには少々さびしい数字ではないでしょうか。

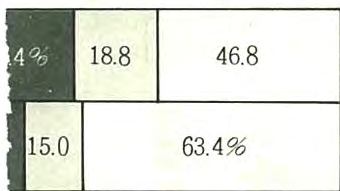
不参加理由の中で、男性は「時間がない」が三二・五%と高い率を示しています。また、「自分の考えや趣味にあったものがない」が男女とも非常に高い率を占めています。

6 サークル活動への参加

「自分の趣味にあつたものがない。」

これらの数字から、労働条件の改善や多種多様なサークルやグループの育成が急がれます。他市町村のサークルやグループ活動の積極的な紹介が必要と思われます。

サークル、グループ活動への参加



参加している
参加したことがある
参加したことがない

野犬を処分します



5月10日～6月10日

犬にたいする苦情や批判のほとんどは飼い主の無責任な放し飼によるものです。

最近は犬を放し飼いでいる例は少なくなりましたが、クサリから放して排泄や運動を犬まかせにしているのが見られます。いくら家ではおとなしい愛犬であっても、ひとたび放されるとよその庭や畑を荒らしたり、汚します。犬どうしや猫とのケンカ騒ぎや、発情期には不必要な繁殖になやまされます。

野犬も、もとは飼い犬だったはずですが。犬を飼えなくなつたが、新しい飼い主が見つからないうからといって遠くに放したり捨てたりすると、のら犬となつて横行し、咬傷事故や環境汚染などの社会問題に発展します。

雪どけとともに、犬の苦情がたくさん役場に届いています。

そこで、役場では五月十日から六月十日までの一ヶ月間、野犬掃とうを実施し、放し飼いでいる犬は首輪の有無にかかわらず処分しますので、お知らせします。

人事異動

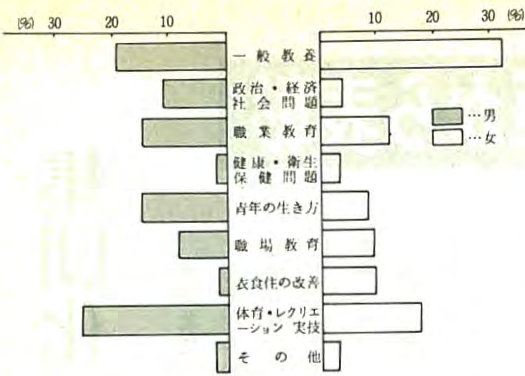
7 学習活動への参加

「近隣町村の人とも交流したい。」

学習活動に参加したいという希望者が七〇・二%とたいへん多く仲間、グループの合同学習に魅力を感じているようです。

また、参加できないとする人が一九%となつていますが、理由として「時間が無い」「仕事が忙しい」が多く、ここでも労働条件の問題が出てきています。

⑬ 学習内容の要望



場合は体を使う実技的なものが二六・四%、また、女性は過去のイメージから脱皮して、「衣食住の改善」九・五%と低く、「一般教養」が三二・四%と高い数字がでています。女性の社会参加への意

8 まとめ

要求に答えた社会教育を

農村青年の多くは、団体あるいは青年学級、教室などで学習活動を通じて、その機会に比較的恵まれています。もちろん、今までの成果をさらに伸ばすことに取りくむのも大事です。

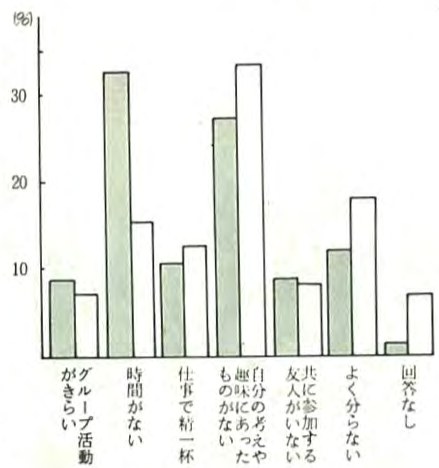
しかし、従来から社会教育の中で、勤労青年、とくに農漁村地域に形成された市街地の青年にたいして働きかけが少なく、また、これらの若者は都市の若者のように誤差や社会教育施設にも恵まれて

今回の調査で、勤労青年のかな

欲がうかがえます。

学習の場についての希望として「近隣町村の人とも交流したい」とした人が六七・五%と、広域的な学習の機会を望んでいます。

⑫ サークル、グループ活動への不参加理由



マスコミは現代の若者を「断絶」「シラケの世代」と定義づけてきましたが、この調査結果をみると、そんな言いかたはあてはまらないようです。

このようなサークル活動にたいしては、社会教育行政の上でも位置づけが弱く、施設の使用も制限されがちです。小さなサークルほど資金も少なく活動の場を持つていない状況なので、社会教育施設の門戸を広げる必要があります。同時に、青少年のためのコミュニケーションセンターも要求されます。

若者たちの多くは、町内のせまい人間関係に満足せず他町村との交流を求めています。したがって勤労青年を対象とした講座、学級などの場を設け、若者の自主的な小サークルの交流を広域的に行なう必要があります。

若者が、町にほんとうに定着する条件のひとつとして、あらゆる活動の場を用意することを考えるときではないでしょうか。そこから地域文化の創造、人と人との結びつきが少しでもできれば青年が「ここに住みたい働きたい」といえる町がつくられるのでは……。

- 〔総務部〕 ▼ 総務課 三井巖 (職員係長) 氏家政枝 (文書係兼庶務係) 河西信雄 (庶務係) ▼ 企画財政課 芝木勝幸 (企画係長兼統計係長) ▼ 税務課 浅田輝善 (納税係) 森利子 (同) ▼ 民生課 山田均 (福祉係) ▼ 町民課 稲葉信 (生活係) (産業建設部)
- ▼ 産業課 秋山稔 (農政係長) 井沢政助 (林務係長) ▼ 都市計画課 平田正一 (下水道係) ▼ 車輛センター 佐藤昌友 (運行係) 鈴木鉄雄 (同) 石丸博 (整備係) (水道部) ▼ 水道課 小川幸男 (業務係) 山田麗子 (同) (出納) 山崎優子 (出納係) (保育所) ▼ 幕別みどり保育所 小林和子 (保育) 氏原光子 (同) ▼ 札幌内南保育所 朝倉君江 (保育) 齊藤佳子 (同) ▼ 札幌内保育所 中村くら (保育) (幕別温泉) 大沢要 (総務係) 中山信一 (業務係) (議事事務局) 高田敏 (書記) (農業委員会) 熊谷直則 (農地係) 森範康 (振興係) (教育委員会) 逢坂勝己 (総務係長) 新屋敷清志 (学校教育係) 郷司清 (社会体育係長) 中村忠行 (社会体育係) 金野忠 (同) 宗像令子 (幕小勤務) 佐藤昭 (同) 豊田百合子 (幕中勤務) (一) 部事務組合) ▼ 十勝教職員研修センター 本間哲也 (総務係長) ▼ 給食センター 須田定男 (業務係) ▼ 幕別消防署 坂口惣一郎 (警防係)

集団化でビートの増収

相川北甜菜 指導実践会

相川北甜菜指導実践会（神内一朗会長）が北海道甜菜経営改善共励会の畑作経営の部で最優秀賞にかがやき、農林大臣賞および北海道知事賞を受賞しましたが、この受賞祝賀会が相川公区の主催で三月二十六日午前十時から相川近隣センターで盛大に開催され、受賞を祝いました。

農林大臣賞、北海道知事賞を受賞した相川北甜菜指導実践会は、寒地農業の確立と経済の安定はビート以外になく、収量が多ければそれだけ所得の増加に結びつくこと昭和四十六年に達成しました。この努力が結果として昭和四十七年には優秀賞を、四十八年には最優秀賞に、あわせて農畜園芸局長賞の栄にかがやいております。

その後、実践会への参加者が増え現在は会員数二十五戸という大型の営農集団となり、機械の共同利用、地力の増進と各作物の収量の向上に努めています。二十五戸の集団が協力して共同作業に従事し、しかも好結果を挙げている

農林大臣から表彰

農林大臣賞、北海道知事賞を受賞した相川北甜菜指導実践会は、寒地農業の確立と経済の安定はビート以外になく、収量が多ければそれだけ所得の増加に結びつくこと昭和四十六年に達成しました。この努力が結果として昭和四十七年には優秀賞を、四十八年には最優秀賞に、あわせて農畜園芸局長賞の栄にかがやいております。

農作業は何れも営農機械を共同で利用し労働力の省力化を図って



トラクターの手入れも念入りに

おり、所有している営農機械はトラクター六台のほか移植機四台、ビートハーベスター四台、コンバイン二台など合計三十一台。

実践会の活動の特色は

- (1) 過去の集団活動の経験から活動の根本を人の和においている。
- (2) 各種の情報は組織を通じて徹底され、地力・栽培技術・省力化に意を用いている。
- (3) 移植と収穫は完全共同作業、その他は全戸を四班にわけて作業を実施し、特に病虫害防除は全戸一斉におこなっている。
- (4) 優良事例の視察を毎年実施しているほか、一・五畝の共同研究畑を所有し各種の試験をおこなうとともに共同畑の収益は集団活動費に使用。

と人づくり、土づくり、それと健苗育成に重点を置き、ことしの移植目標を四月二十五日から五月十日の間に完了する予定を立てています。

実践会の甜菜生産の推移は次表の通りで、播種から収穫まで、それぞれの技術について集団で研さんしあっており、このため各年度

とも平均収量は多く、特に、十勝管内の収量が低かった昭和四十九年、五十年でも、実践会二十五戸の平均収量が五十トを上回ったことは、実践会の普段の研さんが結果したものであると、各方面から注目されております。

慰霊先祖墓に 別墓の建立

現在も町内に住んでいる、また以前住んでいたことのあるアイヌのみなさんによって止若ウタリ先祖慰霊碑が幕別墓地の一面に建設されることになり、四月二日に小雪のちらつく中で地鎮祭が古式豊かに開催されました。



工事の安全を祈るみなさん

昭和四十二年に国道二百四十二号線が開さくされた際、アイヌと思われる人骨が二十数体発掘されこれらの人骨を一ヶ所に集め木柱の墓標を建立しましたが、これに

かわる半永久的な慰霊碑（納骨室を設けたもの）を建立しようとして、桶谷初一さんを代表に町議会に陳情していただいたものです。

小規模企業者の方へ

振興資金貸付が 受けられます

町内の小規模企業が緊急に資金が必要になったときに、資金を貸付け、企業の振興を図る目的で小規模企業振興資金貸付基金が設けられました。

この基金の額は五百万円で、貸付を受けられるのは、町内に一年以上住所を有し、常に雇用する従業員が五人以下の小規模企業者となっております。（ただし、遊興娯楽関係企業は除きます）

貸付金は運転資金として三十万円まで三ヶ月以内の期間、年六％の利率で借りられます。償還の方法は分割でも結構です。詳しいことは役場の産業課商工係へどうぞ。

平均収量の推移

年度	haあたり収量	
	相川北	十勝平均
昭和47年	63.4 ^ト	49.08 ^ト
昭和48年	67.6 ^ト	50.68 ^ト
昭和49年	51.0 ^ト	36.03 ^ト
昭和50年	50.8 ^ト	35.14 ^ト

韓国から
表敬訪問

町内の酪農を視察



福家さんの説明を聞く田副知事

韓国河原道州副知事の田英春さんが三月二十九日の午後、大石町長を表敬訪問のため役場を訪れました。

田副知事は幕別町内の酪農状況を聞いたのち南勢の福家牧場と町営乳牛育成牧場を視察しましたが福家牧場では、福家さんの経営説明にうなづき、また、熱心に質問していただきました。

なお、河原道州は三十八度線の近くにある州で、田福知事は酪農関係の視察のため来勝、本町のほか音更、池田町を、それぞれ訪れております。

歯の衛生をPR

ライオンズクラブが協力

先月、札内福祉センターで、幼児と園児を対象に口腔衛生検査が行なわれ、百六十名の子どもさんがお母さんにつれられて受診しました。



「はい、大きく口をあけて……」

この巡回指導は、幕別ライオンズクラブの歯科の先生や会員の方のご協力で歯の衛生思想の普及に大いに役立ち好評でした。また、ライオンズクラブから全員に、ハミガキセットが贈られました。

健康メモ

がんによる死亡は、年々増加の一途をたどり、昭和四十八年では総死亡の十八・五%、死因順位の第二位をしめています。

しかし、注目すべきことは、三十五歳から六十四歳では死因のトップをしめており、ちょうど働きざかりの年代の四人に一人が、がんで倒れていることになりました。

がんは、一名を悪性腫瘍ともいい、正常な細胞が突然変異を起こしたものです。がん細胞になると次々に正常な細胞をこわし、ついには、リンパや血液の

年に一回は健康診断を

流れにのって身体のあちこちを破壊します。

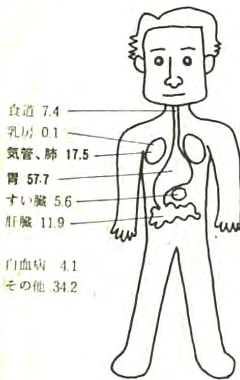
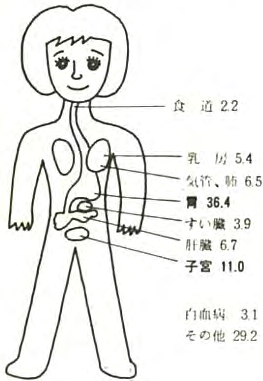
部位別に見ると、図からもわかるように男女とも胃がんが多く、ついで男は肺がん、女は子宮がんとなっています。

がんはどうしてできるのか、ということは残念ながらまだはつきりとわかっていません。ただし、日本人に消化器系のがんが多いのは食生活と関係があるのではないかとということ、またタバコを吸う人は吸わない人に比べて肺がんが多いことは、いろいろな調査や研究で明らかになりつつあります。

現在のところ、がんにたいする決め手は『早期発見、早期治療』以外にはありません。がん

昭和四十八年度(男女別)

部位別死亡率(人口十万対)



がまだ小さい時期に見つけて早く治療することが大切なのですが、早いうちは自覚症状がないので手遅れとならないために、三十五歳をすぎたら、年に一回の健康診断を必ず受けるようにしましょう。

手作りの保存食

季節の果物が出まわるのは、まだまだ先のことですが、今月はジャムの作りかたを二つご紹介します。

いちごジャム
材料 いちご一詰 砂糖

糖(いちごの六〇〜八〇%) レモン汁(大きじ二) またはクエン酸少々

- ①いちごを洗ってへたを取る
- ②ホーロー鍋に入れて砂糖をかけて一晩おく(いちごから水分が出てひたひたになる)
- ③その鍋を火にかけて煮立ったら少し火を弱めあくをていねいに取り酸味が少なければレモン汁またはクエン酸を加える
- ④重くなりジャムがはねるようになったら水を入れたコップにジャムを一滴入れてみる(水の中でパツと散らなければ出きあがり)

りんごジャム

材料 紅玉五百苺(三ヶ位) 砂糖(りんごの六〇〜七〇%) 水(カップ二分の一)

- ①りんごは四つ割にし芯を除き皮をむく
- ②皮をむいたりんごをできるだけ小さく小口切りにする
- ③ホーロー鍋にりんごと水を入れて火をかけ、やわらかくなったら砂糖を二回に分けて入れ、とろみがついたら火をとめる

保存のしかたは先月号を参考にしてください。

(資料提供・消費者協会)

飲酒運転はやめよう……飲んだら乗るな、乗るなら飲むな。

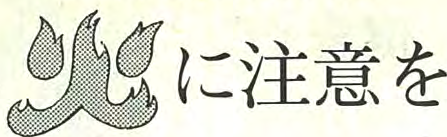
消費者コーナー

「譲ります」

◎ 三共石油ストーブ
ナショナル冷蔵庫
札幌西アカシヤ
大野嘉久 ☎(札内)三
五八三

「金額は希望される方と相談します」とのことです。
譲ってほしいという方は、直接話しあいをお願いします。生活を見直してみると、まだまだ使えるものはたくさんあります。品物を譲りたい、譲ってほしい方は品物名・希望価格・住所氏名・電話のある方は番号を役場町民課に連絡してください。

空気が乾燥しています



春の全道火災予防運動が実施されています。(四月二十日～五月十九日)

非常に乾燥し、風の強い日が多く火災の最も発生しやすい時期です。尊い生命や財産を火災から守るため、職場はもとより各家庭でも次のことに十分注意してください。
▼火気使用場所の点検
・ストーブなど火を使う場所は安全か。
・燃えやすいものがそばにない

か。
・整理整頓が行き届いているか
▼電気器具の点検
・ガスコンロのゴムホースが古くなってひびが入っていたり、

お誕生おめでとう

- 角田 典子 (武・長女) 日新
- 大場 勲 (幸・長男) 幸町
- 井沢 佳子 (政助・長女) 旭町
- 西嶋理恵子 (昇一・二女) 新川
- 佐藤ケン太 (真滋・長男) 札内
- 酒井 浩 (利侑・五男) 明倫
- 朴木 教勝 (芳雄・二男) 札内
- 藤岡 雅美 (学・長女) 五位
- 牧野 貴史 (隆悦・長男) 旭町
- 森原 幸義 (久雄・長男) 駒島
- 国安慎之助 (広美・長男) 明野
- 小野瀬竜也 (忠男・長男) 相川
- 武田 祐子 (昌輝・長女) 相川
- 関谷 友恵 (勝彦・長女) 旭町

老人と子どもを火災から守ろう

焼死の原因で目だつて多いのが老人や小さい子どもです。老人や子どもは、火災に気づいたときどうしたらよいか判断がつかない。

か。
・寝たばこはさせない。
・子どもの手のとどくところにマッチやライターなどを置かない。また、火の恐しさを十分教える。

- 西倉 宏昌 (広光・長男) 札内
- 齊藤 雅紀 (久三男・長男) 札内
- 本田公一郎 (公敏・長男) 日新
- 藤原 広 (和憲・長男) 日新
- 畠中 夢香 (稔・二女) 南町
- 河上留美子 (薫・四女) 明野
- 松田 育恵 (俊文・長女) 札内
- 白井 孝明 (悟・長男) 依田
- 次田 直樹 (寛三・長男) 本町
- 矢野 明子 (良一・長女) 軍岡
- 山口 拓哉 (能博・長男) 新町
- 山影恵美子 (一男・長女) 札内

- 西岡トクノさん(寿町) 七十三歳
- 浦田 源松さん(依田) 七十五歳
- 西川マツ子さん(緑町) 六十歳
- 木村 甚作さん(札内) 八十四歳
- 香川富太郎さん(軍岡) 八十四歳
- 池田 敏種さん(札内) 五十八歳
- 山根ハツエさん(札内) 五十九歳

ご結婚おめでとう

- 桜井 清作 末子(中川) 依田
- 黒川美喜雄 富美枝(竹路) 相川
- 坂本 登 恵子(吉田) 札内
- 福島 征勝 朝子(井沢) 札内
- 石丸 博 励子(高畑) 札内
- 下垣 良敏 百合子(荒木) 札内
- 入谷 宏 貴美子(早坂) 札内

- 島勝 春美 美智代(熊谷) 札内
- 安永 幸治 富子(天野) 札内
- 中村 隆雄 宏子(大和田) 札内
- 林 勇夫 由紀子(菅原) 旭町
- 奥田 茂己 清子(小倉) 相川
- 後藤 竹夫 登美枝(品田) 錦町
- 加藤 富 靖子(佐々木) 札内

篤志寄付ありがとうございました

五百円 匿名の方より、不幸から立ちあがる子どもさんにと町社会福祉協議会へ。
三万円 妹尾寿男さん(新和)より、母が生前お世話になりましたと新和老寿会へ。
千円 匿名の方より、今月も気持ちばかりですが町社会福祉協議会へ。
五万円 浦田邦夫さん(依田)より、父が生前お世話になりましたと町社会福祉協議会へ二万円 札内寿会へ三万円を。
五千円 筒淵ヤスエさん(札幌)より幕別在住中にお世話になりましたお礼として幕別老人クラブへ一万円 鈴木悦子さん(寿町)より、亡夫法要費用の一部を社会福祉事業へと町社会福祉協議会へ。

グアテマラ地震救援金として
八千円 伊藤長富さん(アカシヤ団地)より。
八百五十円 浅村亮彦君(幕小四年、晋彦君(同)より。